

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	法然門下における親鸞教義の特徴と蓮如の布教伝道に関する研究
所属	人文学部 人文学科
氏名	佐々木 隆晃
<p>【概要】</p> <p>法然の『選択本願念仏集』に明らかにされた念仏往生は、法然門下の碩学たちによって継承され、以降の浄土宗・浄土真宗・時宗等へと展開することになった。</p> <p>浄土真宗では親鸞以降、京都・関東・東海・北陸・中国地方等の各地において、親鸞門弟によって法然の専修念仏が布教伝道され、それぞれに受容・展開していった。</p> <p>親鸞教義が法然門下においてどのような独自性を持ち、その後の浄土真宗の展開にどのような影響を与えたのかを考察することによって、日本仏教において浄土仏教がどのように民衆に求められた救済思想であるかを明らかにすることができるのではないだろうか。</p> <p>親鸞教義における西山義との類似性や、浄土宗西山派の系統からおこる時宗教団の布教活動との差異などを視野に、浄土真宗が爆発的に拡大した蓮如の布教伝道における教学基盤を分析したい。</p> <p>親鸞の著述にみられる教義理解や、『歎異抄』『御文章』『安心決定鈔』などにみられる親鸞以降の布教伝道の形態を精査することで、親鸞教義と蓮如の布教伝道との整合性を確認するとともに、法然門下の教義展開と親鸞教義の特徴を明らかにしたい。</p>	
キーワード	親鸞 法然門下 蓮如 念仏理解 伝道